

# 妙楽寺

妙楽寺は、川崎のあじさい寺と呼ばれています。

最近、旧府中街道の信号機の看板が『長尾』から『あじさい寺』に変わりました。



## 妙楽寺の名前の由来は？

妙楽寺の本当の名前は、「長尾山 薬王院 妙楽寺」といいます。

長尾山というのは、妙楽寺の山号です。【山号】とは、各お寺にある山の名前です。

「薬王院 妙楽寺」は、お教の一部をとって使われたと言われています。そのお教はどのようなものだったか、まだくわしくは分かっていません。

## どうしてあじさいをうえたのか？

つつじがかれてすきまがあいてきたので、先代の方が境内（お寺の敷地）にあったあじさいを植えたそうです。

そんなに植えるつもりではなかったけれど、いつの間にか増えていました。あじさいは、6月ぐらいにさいていて、たくさんの色があるのでとてもきれいです！

## あじさいまつりを始めたきっかけは？

「花と緑を守っていこう」「町おこし」「地域の人に楽しんでもらうため」

あじさいまつりは、6月ぐらいに行われていて地域の方々も参加していてとてもふれ合えるまつりです。

そのほかにもお花がもらえたり、ジュースや焼きそばなどが買えたりします。



大みそかは、除夜のかねをつかせてもらえます。

かねの音が長尾の里にひびき新しい年がやってきます。

## 妙楽寺に疎開しにきている人は、いましたか？

疎開（そかい）している人はいました。昭和19年～20年まで川崎の南の方から子供達が、40人～50人きていました。

【疎開】とは、戦争などの危険をさけるために子供達（中学生以下）が集団で寺などの場所に移ること。

## 妙楽寺にまつわる歴史

昔、長尾のどこかに威光寺がありました。この威光寺は、鎌倉時代の初めに源頼朝の弟で義経の実兄に当たる今若丸こと阿野全成【あのぜんじょう】が住職をしていました。鎌倉の北東を守る幕府の祈とう寺としてありました。長尾台という地の利からして、となりの枳形山とともに、鎌倉の防衛拠点としての役割ももったと考えられています。これほどの威光寺がどうして妙楽寺へと変わったのか、くわしく分かっていません。

**2000年6月6日（火）神奈川新聞に載っていた記事を紹介します。**

近年、境内薬師堂に安置の薬師三尊像のうち、1545年に作られた、日光菩薩の中から長尾山威光寺と読める墨で書いたものが発見されました。これで、妙楽寺は威光寺の昔の後だということがはっきりしました。ですが、百数十年の沈黙の後、17世紀後半には威光寺の名は消えて妙楽寺の名が表れてきました。この時期は、戦国から安土桃山を経て江戸時代へと移っていく時代の大きな転換点に当たっています。たぶん威光寺はこの大きな歴史の波にもまれながら、寺の運命を変えていったようです。



## 長尾小学校の恒例行事

長尾小学校では、毎年、アジサイが咲く頃に、1年生から、6年生までが、妙楽寺にアジサイのスケッチに行きます。

下の絵は、6年生の作品です。

